

# 大学の力

転機の教育

⑧

34面に関係記事

ながら「留学」できる時代。留学そのものも、より自在になっている。

欧州では、各国の大学の学生交流を促す「エラスムス計画」が進む。

## 進む国際化

単位互換をするため、母校を休学しなくても済む。留学先の大学に残って卒業することも可能だ。「いずれは1年ごとに、違う国の大学で学べるようになる」と事務局担当者は言う。

日、米、韓国など28カ国によるアジア太平洋大

の中嶋嶺雄・前東京外国語大学長は、加盟国が大学の市場価値を高めるため、質の高い留学生を一人でも多く受け入れようとしているのに衝撃を受けた。「もはや異文化交流」とは言うてはられない

成忠男総長は「日本の頭上を飛び越された」。1年間留学させる。中国やシンガポールなどに進出し、現地の大学との共同研究や日本語教育も準備する。アジア各地から優秀な学生を集めるための「布石」だ。

経済協力開発機構(OECD)加盟国で、少なくとも約4兆円と試算される高等教育サービスは、いまや貿易交渉のテーマになっている。

「転機の教育」の次のシリーズは春、「教師」を取り上げます。

# 開放へ押し寄せる波

から試験問題と解答まで全部無料。10年かけて約2千科目を公開する。

全世界に大きな反響を巻き起こした。大学に2カ月で届いたメールは4千通。称賛が7割を超え

も発足し、5年前、東京に国際事務局が置かれた。単位互換は動き出したばかりだ。

大の学位をとれるようにできないか調査した。し

限なしの自由化」を求め

生がだまされないように注意を払う義務がある。

「転機の教育」の次のシリーズは春、「教師」を取り上げます。

MITは昨年9月、インターネットで全世界に講義内容を流し始めた。

件数は世界8位だ。国境が消え、自国に

EU加盟国が音頭をとる。87年に12カ国から始まり、現在は30カ国が参加。昨秋には留学生が累計100万人を超えた。

U MAP 国際事務局長「国際教養学部」を新

学位を授与していた。清

日本には米国大学の分校があるが、大半は、土地や施設、教員数などが

き残り競争も激化する。研究面でも教育面でも外国の大学との境界は消えつつある。より開かれた、力のある大学への模索が続く。(おわり)

ご意見募集 〒104・8011 朝日新聞取材班へ。ファクスは03・3542・4855、メールはsyakai4@ed.asahi.com